

ジブラルタルからの留学生

私が京都にいた若いころ、桂離宮を訪れる外国人がときどき訪店してくれたので、英会話の勉強もしていました。

しかし、現在私が住んでいるこの辺りの住宅地では、外国からの観光客を見かけることはありません。ですから、私の英会話能力も、ほとんどゼロに近くなっていたのです。

先日、20歳代の外国人の男性が店に入ってきました。「店の中でバスを待たせてもらっていいですか？」と日本語で話してくれてホッとしました。留学生で仙台の大学に来ているとか。

イロイロ話していて、どこから来たのか聞いたところ「ジ～何とかかんとか」と、しっかり聞き取れないので、「あなたの国の名前を教えてください」といいなおしました。

スペインの南の地中海に面した国だということで、すぐ分かったのです。「ジブラルタルですね、小さな国の」。彼はようやくジブラルタルを知っている人がいたというような笑顔で、うなずいてくれました。

どうして私が知っていたかということ、アマチュア無線を50年以上やっていますが、5年くらい前に初めてジブラルタルの人と交信できたのです。それまでジブラルタルからの電波も聞いたことがありませんでした。そんな国なので、すぐにピンときたわけです。

ジブラルタルロックのイラストが描かれた交信証明書を無線室から捜してき

店頭から にんにちは

第143回

先日、外国人の若い男性がお店にやってきました。最近英語を話す機会もなかったもので、どうなるかと――。

アマチュア無線からの思わぬつながり お店でも世界を感じる瞬間が

て、彼に見せたら、“信じられない”というような興奮ぎみのお顔を。それはもうバスが発車する直前でした。また、彼が来るかもしれないので、交信証明書をコピーしておいて、次回に差し上げようと思います。

ザンビアからの帰国時に

以前、仕事でモンゴルに滞在していて、帰国した際、いつもおクスリを買いに来てるご家族が来店しました。現在は、ザンビアに駐在しておられるそう。

ザンビアは日本からアマチュア無線でラクに交信できるので、「ザンビアにいる間にアマチュア無線の資格を取って現地から電波を出すと、日本からだけではなく世界中から呼ばれますよ。ぜひ免許を取ってください」とお願いしておきました。

交信してどんなことをお話しするのかと奥様に聞かれ、「無線機やアンテナの説明、天気、気温など身近な話題を話します」と。ちょうど本誌に、お母様のことを書いていたので、そのページを広げながら、「お母様に見せてね」とお願いしておきました。

宮川薬局(宮城県仙台市)代表
薬学博士・薬剤師

みやがわとし じ

宮川季士先生

プロフィール

1976(昭和51)年、東北薬科大学(現・東北医科薬科大学)卒業。'78(同53)年、同大学大学院修士課程修了。'87(同62)年、薬学博士学位。地域に根ざしたおクスリ屋さんとして、多くのファンが。「季節の変わり目は、注意してください」

